

---

# 立教大学キリスト教学会 2017 年度大会

日 時： 2017 年 5 月 20 日 (土) 13:30~17:00

場 所： 12 号館地下 1 階 第一・第二会議室 (立教大学池袋キャンパス)



受 付 (13:00~ )

研究発表 (13:30~14:30)

## 1. グラサのレギオン

— マルコ福音書 5:1-20 節の伝承史的・社会史的分析と考察 —

発表者：大川大地 (2016 年度本学大学院キリスト教学研究科  
博士課程前期課程キリスト教学研究コース修了)

## 2. ヤハウエとイスラエル、バアルとアシェラ (王上 18:16-40)

発表者：金 大 焯 (2015 年度本学大学院キリスト教学研究科  
博士課程前期課程キリスト教学研究コース修了)

ティータイム (14:30~15:00)

講 演 (15:00~16:30)

## F. シューベルト『冬の旅』の成立をめぐる～時代、背景、宗教観

**大島 博 (本学キリスト教学研究科教授)**

総 会 (16:30~17:00)

---

来聴無料・申込不要

(どなたでもご参加いただけます。お気軽にご来場ください)

問い合わせ先：立教大学キリスト教学会事務局 TEL：03-3985-4779)

E-Mail: kirigakkai@grp.rikkyo.ne.jp

## <講演者紹介>

### 大島 博 OSHIMA, Hiroshi (テノール)



熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。同大学院在学中の86年、ミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年D.フィッシャー＝ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。博士(音楽)。

宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの受難曲における福音史家の演奏には定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も多い。96年からはくドイツ・リートのたのしみ>と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。

近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動し、ドイツ詩の翻訳も手がける。ジングアカデミー東京主宰。

研究分野は、ドイツ・近代芸術リート、J.S.バッハを中心とするドイツ・プロテスタント宗教音楽。

## <講演概要>

初期ロマン派の作曲家、F.シューベルト(1797-1828)の連作歌曲集『冬の旅 Winterreise』は、彼の代表作というのみならず、近代芸術歌曲史上最高傑作の一つに数えられる。しかし、テキストとなったW.ミュラーの詩の創作事情と相まって、その成立は複雑な様相を呈している。また、内容的にもナポレオン戦争後の反動的な時代の閉塞感が色濃く映し出されており、単なる歌物語にとどまらず、体制への批判、理想の希求といった当時の若者の心情が織り込まれた作品となっている。今回は『冬の旅』の成立について、時代的特徴、背景をなす詩人、作曲家それぞれの芸術的主張に目を配りながら、実演を交えつつ考察する。更に、作品のモチーフの一つである当時の宗教観にも触れることが出来ればと考えている。

## 《会場案内図》

**会場：**  
12号館地下1階  
第一・第二会議室

